

はじめに

「入門！消費者問題の歴史」は、「消費者教育ポータルサイト」に「消費者問題の歴史」として掲載している年表中の、各時代区分の消費生活の様子や、主な出来事について、分かりやすく解説したものです。

今日、私たちは、パッケージの絵や表示を見たり、取扱表示を見るなどして、商品を適切に選び、使うことができます。また、商品への疑問を事業者のお客様相談窓口に問い合わせたり、強引な勧誘などによって不本意な契約をしてしまった場合、消費生活センターに相談したりすることもできます。

消費者への選択の機会、情報の提供、被害の救済などが行われるようになるまでには、消費者被害が起こるたびに、消費者が声を上げ、法整備や行政・事業者による対応が行われてきた歴史があります。そして、現在も様々な消費者被害が起こっており、歴史は刻まれつつあります。

また、生産・消費・廃棄の過程で、環境や資源に関わる問題も新たに発生していますが、皆がそれぞれの立場で知恵を出し合い、取り組んできました。

このように考えると、現在の一人一人の消費行動が、未来の人たちに大きな影響を及ぼすことが想像できます。

消費者問題の歴史を垣間見ることで、消費者問題を日々の生活と密接に関わる身近な問題として理解し、消費者市民社会の一人として行動する際の一助となれば幸いです。

平成27年6月
消費者庁 消費者教育・地方協力課